

# 東海カード会員だより

2020年7月20日発行

## 東海大学新聞掲載記事 (2020.6.1号)

### 学園全体で感染防止対策進む

#### 【新型コロナ】東海大生の支援策も策定

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向け、学校法人東海大学でも松前義昭理事長を本部長とする新型コロナウイルス感染症中央対策本部を設置。松前本部長主導のもと、各部門、各教育機関に置かれた現地対策本部で対応が図られてきた。5月11日からは東海大学、短期大学部、医療技術 短期大学で遠隔授業が始まっている。

保護者等の家計急変や学生本人のアルバイト収入激減などにより経済的に修学が困難となった学生と大学院生に対し、1人あたり30万円、総額約1億5000万円を給付する「新型コロナウイルス感染症対応応急奨学金(給付型)」も新設。6月中から募集受け付けが開始される。申請方法などの詳細は、東海大学オフィシャルサイトに随時掲載される。

#### 生徒・学生のさらなる支援へ 松前重義記念基金で寄付募る

これらの奨学金制度立ち上げに伴い、学園では新型コロナの影響で新たに経済的に困窮する生徒・学生への支援を目的とした寄付を、松前重義記念基金を通して受け付けている。

同基金は、学園の創立者・松前重義博士の偉業を顕彰し、その理念を継承することにより、人材育成と諸活動の向上発展に寄与することを目的としたもの。

「松前重義記念基金」の詳細はこちらからご覧ください。

[https://www.tokai.ac.jp/news/detail/post\\_308.html](https://www.tokai.ac.jp/news/detail/post_308.html)

### 教員有志がワークショップ

#### 遠隔授業の課題と対応策を共有

5月11日から始まった遠隔授業について、1週目の課題と対応策を共有する「オンライン学習リフレクションワークショップ」が湘南校舎の教員有志によって16日に開かれた。

教養学部芸術学科デザイン学課程の富田誠准教授が中心となり、WEBビデオ会議システム「Zoom」を用いて実施。理学部の山本義郎教授や国際教育センターの結城健太郎准教授、情報教育センターの宮川幹平准教授ら12人の教員と、山田清志学長が参加した。

当日は、参加者が同時に入力できるオンラインホワイトボードサービス「miro」を活用し、「授業設計」「資料作成」「学生への連絡方法」など、一人ひとりが実践した内容と課題を入力。その内容を踏まえ3、4人ずつのグループで討論し、「初回のガイダンスはオンデマンド上に資料を掲示するだけでは理解できなかった学生が多かったので、急遽ライブ配信した」「資料の配信方法は、データ通信量を極力抑えることを意識している」「授業への質問をメールで何度もやりとりすると時間がとられる。連絡手段も工夫して勉強に集中できる環境をつくってあげたい」など、意見を交わした。

山田学長は、「遠隔授業は万能ではありませんが、数百人が履修するような大規模な授業では教室よりも教員と学生の距離が近く発言しやすくなるなど、場合によっては有用。この状況が収束せず、秋学期も“3密”を避けた授業体制をとる必要があれば、十分なスペースを確保した対面授業や遠隔授業の継続も必要だと考えています」とコメント。

また、「今回の勉強会は教員一人ひとりが自身の授業をレビューするとてもいい機会でした。今後も学部学科をこえて教職員が協力してもらいたい」と語りかけた。

(裏面へ続く)

## 日米学生会議に参加決まる

【湘南】工学部・須藤さん

日本とアメリカの大学生 72 人が集う国際学生交流プログラム「日米学生会議」の参加者が 4 月 16 日に発表され、東海大学から工学部 2 年の須藤直太郎さんが選ばれた。

日米学生会議は 1934 年に創設され今年で 7 回目を迎える。両国政財界の未来を担う多くの若者が参加し、運営も学生が行っている。例年は約 1 カ月間寝食をともにしながら語り合う形で行われてきたが、新型コロナ ウイルスの感染拡大を受けて初めて形式を変更。8 月 8 日から 18 日までオンラインで夏会議を、来年 1 月 2 日から 9 日までハワイ・オアフ島で全員参加の冬会議を行う計画になっている。

「日常生活ではあまり議論する機会がない政治などの問題について、両国の学生が本音で語り合うのがこのイベントの魅力。相互理解の第一歩は衝突から始まると思っているので、私も本気でぶつかりたい。本音の議論からどんな合意を形成できるか、今から楽しみ」と須藤さん。

「オンラインになったのはもちろん残念ですが、伝統を絶やすことなく、実現してくれた関係者の努力には心から感謝している」と話す。

学生会議では、7 つある分科会のうち「サイバー空間と脅威」に参加し、両国のサイバー技術への向き合い方や、平和利用、安全保障の問題を議論する。「サイバー空間は、私たちが生まれたころから大きく成長してきた。旧来の常識が通用しないため人々に不安を与える こともある一方、新しい世界を実現できる可能性も持っている。キャリアも考え方も違う仲間からたくさんのことを吸収し、この技術とのかかわり方を学びたい」と意気込んでいる。

## 東海カード提携協力店募集のお知らせ

東海カードでご利用頂ける独自の協力店は、会員の皆様のご協力により全国の店舗・施設でご利用いただけます。

東海カードをより価値あるものにするために、引き続き皆様に協力店の募集をお願いしております。詳細は同窓会事務局までご連絡をお願いします。

## 東海大学ネットをご活用ください

・Microsoft Office 365 システムによる生涯メールアドレスの利用  
(tokai-ujp のドメイン)詳細は以下 URL をご覧ください。  
<http://www.kouyu.tokai.ac.jp/dousoukai/service/net.html>

## インターネットホームページについて

URL : <http://www.kouyu.tokai.ac.jp/> (校友会)  
<http://www.kouyu.tokai.ac.jp/kouenkai/> (後援会)  
<http://www.kouyu.tokai.ac.jp/dousoukai/> (同窓会)

同窓会・校友会・後援会ではホームページを開設しております。会員の皆様からの情報をもとに内容を充実させていきたいと考えておりますので、ご意見・ご希望をお寄せ下さい。事務局までお気軽にお問い合わせいたします。

## 東海大学校友会（校友会・白鷗会・同窓会）事務局

学校法人東海大学理事長室学園校友課

〒151-8677 渋谷区富ヶ谷 2-28-4 TEL 03-3467-2211 (代表)

E-mail [koyukai@tokai.ac.jp](mailto:koyukai@tokai.ac.jp)

## 東海大学事務部事務課（後援会担当）

〒259-1252 平塚市北金目 4-1-1 TEL 0463-58-1211 (代表)

E-Mail [koyu@tsc.u-tokai.ac.jp](mailto:koyu@tsc.u-tokai.ac.jp)